

第2号様式（第3関係）

第2回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

- 1 開催日時 令和3年8月4日（水） 午後3時00分～
- 2 開催場所 豊山中学校1階ランチルーム
- 3 出席者
名古屋市立大学芸術工学研究科 教授 鈴木賢一（会長）
愛知工業大学工学部 教授 鈴木森晶（副会長）
中部大学人間力創成総合教育センター 教授 武者一弘
愛知教育大学教育学部 教授 風岡治
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長 池山和徳
豊山中学校 校長 篠田弘男
豊山町議会 議長 水野晃
豊山中学校PTA 顧問 小川晃永

事務局
教育長 北川昌宏
事務局長 安藤憲司
教育参事 小川貴
事務局学校教育課長 井戸茂治
事務局学校教育課学校教育係長 菊地智行
事務局学校教育課学校教育係主任 安藤幸雄

阪急コンストラクション・マネジメント株式会社
名古屋事務所 営業部部長兼名古屋事務所副所長 杉田昌彦
名古屋事務所 CM部 チーフマネジャー 山口友香 理
- 4 欠席者
愛知学泉大学家政学部 教授 前田治
- 5 傍聴者
山本亮介
坪井孝仁
鈴木美穂
岡島政信
作野桂子

6 議題

- (1) 目指すべき中学校のあり方について―論点整理―
- (2) 意見聴取の実施について

7 会議資料

- (資料1) 議題 (1) 目指すべき中学校のあり方について
- (資料2) 議題 (2) 意見聴取の実施について

8 議事内容

(1) 連絡事項等

事務局：第1回構想会議議事録を配布した。各自で確認をお願いしたい。
前田委員からの欠席連絡について報告。
本日会議終了後に豊山中学校施設の視察し、視察後に質疑の時間を設ける。

(2) 議題

【(1) 目指すべき中学校のあり方について】

事務局：目指すべき中学校のあり方について、事務局で豊山中学校の現状をまとめたので説明する。

資料説明 「資料1_議題(1) 目指すべき中学校のあり方について」

以上の説明を踏まえ、各委員から意見や最新事例などを提示頂きたい。回答期限は8/20(金)までとし、事務局へメールにて提出してほしい。回答用紙については事務局より別途配布する。

頂いたご意見は、事務局にて取り纏め、第3回構想会議にて意見を提示する。

会長：議題(1)について、質問意見等は。

委員：この場で議論する段取りにはなっていないのか。有識者の方と議論を行いたいが如何か。

事務局：本日は、現状について説明させてもらい、この後、豊山中学校施設も見てもらいたい。現状について確認したうえで意見を頂戴し、集約したものを報告したい。それを踏まえたうえで、次回以降に事務局から具体的な提示をしたうえで、委員の皆様からご意見を頂戴したい。

委員：この会議のやり方だとヒアリング等の日程が、ずれていくと思うがよいか。

事務局：今回は論点整理として5項目について説明した。本日、現地視察後に、時間があれば意見を頂きたい。専門的な知見をもって意見交換は行っていきたいと考えているのでご理解頂きたい。

委員：スケジュールでは、8月からアンケート実施となっているが難しいのではないか。

事務局：イエスカノーだけを聞くアンケートではなく、意見聴取は8月から行っていきたいと考える。夏休み期間を利用し、生徒や保護者と意見交換をしたい。

委員：委員の知見を踏まえたヒアリングの方が良いかと思う。委員の意見を踏まえてからヒアリングを行うことはできないか。

事務局：専門的知識を持った委員の意見を踏まえながら、かつ、保護者や生徒がどう考えているかも聴取した上で、双方の意見を並行に議論を重ねていきたい。保護者や生徒からの意見は、構想会議でも提示する。

委員：期間が短いのではないか。

事務局：期間が短いという意見は重く受け止める。

会長：早く実質的な議論をしたいのは分かるが、いろいろな意見を各委員からもらい、事務局でまとめるということではよいと思う。今回は現状を踏まえた課題を出すか、どういう学校にするかは次回以降行う。網羅的に描くことは不可能と思うので、各委員の専門分野を書いていただければよい。専門分野だけでなく、いち保護者的な立ち位置で書いてもらってもよい。

委員：目指すべき項目の現状を調査されているが、誰がどのように調査したか。

事務局：事務局において豊山中学校教員より聴取した。また、学校開放部分は所管している社会教育センターへ、防災に関する部分は町防災担当から聴取した。

委員：生徒、教員の意見は入っていないのか。

事務局：教員は、校務主任に確認した。

事務局：議題1の補足として、資料は青冊子P39 目指すべき姿から引用している。中には児童という文言が入っているが、小学校についても書いているためである。

中学校の整備水準は青冊子P60に計画策定時の水準を掲載している。P57以降からは、各小中学校の具体的な施設整備水準を掲載している。参考としてほしい。

意見を出すことが難しいと思われる内容もあると思うが、先進事例や日常生活の位置付けなどについてご意見をいただきたい。

委員：生徒や保護者から意見を聞くが、これは箇条書きで書いてもらうものか。参考事例などを提示して意見を求めるものか。

事務局：議題2で説明させていただく。

【(2) 意見聴取の実施について】

事務局：資料説明 「資料2_議題(2) 意見聴取の実施について」

補足として、8月26日に生徒及び教職員の聴取、9月6日に保護者（PTA）の聴取を予定している。その他関係団体、教育関係者は、今後日程調整を行う。

事務局：委員からもあったが、生徒や保護者からどんな意見があるか多面的に聞いてみたい。各種団体からも先進事例などを示して聞いてみたい。フリートーク形式で行いたい。また、住民説明会も行い、幅広い住民の意見を聞いてみたいと考えている。

会長：聴取は何人から聞くのか。

事務局：生徒（生徒会役員）は5名程度を考えている。

委員：保護者（PTA役員）について、保護者対象に人数制限を設けず、保護者全員について意見聴取をすることはできないか。人数を限定せず幅広い意見を聴取できないか。

事務局：500人を超える生徒の保護者全員から聞いた場合、集約することを考慮すると不可能と思える。保護者からの意見は聞くが、保護者一人一人から意見を聞き集約することは困難だと思う。

会長：簡易なアンケート方式で行う事例もある。対面で500人は無理かと思うが、場合によっては、簡易なアンケートを取る方法もよいのでは。

事務局：場合によっては、そのような方法も検討する。

会長：私が懸念しているのは、現状の悪いところを改善したいという意見だけにならないかが心配である。それだけになると次へ進んでいかない。次の50年を見据えた意見を聞き出してほしい。現状の問題のみに目を向けるのではなく、将来どのような新しい学校にしたいかという意見を聞きだしてほしい。

委員：実際に使っている生徒と先生の声を知りたい。できればこの会議に呼んでもよいのではないか。生徒や保護者の聴取は委員も参加できないか。生の声を聴いて考えてみたい。具体的なニーズなどを聞けると、次の改築の際に、何が大切か分かるかもしれない。

事務局：聴取については持ち帰らせてほしい。ヒアリング日程も含め見直し、改めて取りまとめる。

会長：日程を決めたのならば、進めていただいてもいいと思う。プラスアルファで何か意見を聞くことができるか考えてほしい。

(3) その他

【会議及び施設視察後の感想】

委員：室内プール及び屋上テニスコートはシンボルとなり、立派な施設であった。テニスコートは屋上にあり移動が大変そうに思う。教育施設としてどう使っているか考えさせられる。相談室も3つほどある。人知れずに相談したい子が使っているのかと思うが、実際に使っている生徒や先生の声を知りたい。

機能として活かしているか考えたい。ここで教育を受けた生徒が将来この町を支えていたり、或いは先生についても、ここが教育の原点となりもう一度勤めてみたいと思ってほしい。

委員：校内見学について、私が入学したのは中学校ができて2年目の時だった。この施設は素晴らしいと思った。今後の建替について、委員の様々な見解や意見を頂きたい。

委員：校舎は結構きれいと感じた。

委員：保護者としてどうしたらよいか、トイレをキレイにしたいと漠然としたイメージしかなかったが、小牧の味岡中学校見学も踏まえ、保護者や生徒の意見、先進事例など具体的なイメージも示していただけるとよい意見が出ると思う。

委員：校舎は結構きれいと感じた。小牧の味岡中学校の見学を踏まえて校舎を見たが、それを思い出しながら見学した。やはり、相談室が随所にあり、職員室の隣や、2階・3階の各所にあるが、活用方法については日々様々な事例に対応して使っているかと思う。保護者が来校された際や不登校の生徒などに活用している。今後はこういった場の活用が増えるものと思う。

委員：3つ感じたことがある。

1つ目、教室にいられない子のスペースがない。廊下スペース、階段スペースで、子供が座れる場所、居場所として過ごせる場所がある。相談室に入るまでもないが、生徒が教室ではない休む場が少ないと感じた。多様な対応ができるようにしたい。

2つ目、教室が狭い。40人の机を並べるとすれ違うスペースがない。共用の棚が窓際と後ろにあるので、余計に狭く感じる。より広い教室にできるか、間仕切りでオープンとなるスペースができるかなど検討が必要。

机も新規格に対応していくと思うが、タブレットを並べても使える机としたい。GIGAスクールへの対応も考えると、教室にモニターがなく、共有となっている。生徒は1人1台タブレットを持っているので、教室の情報環境を考えるべき。また、図書室をどのように情報センター化していくか検討が必要。人の配置をどうするか。図書館司書、ICT支援員について、どう配置するかによって、教育の質に関係していく。

3つ目、視察では教員の執務スペースについて見ることができなかったので、今後、教員の働き方改革や働きたいと思う施設について示していただき、働きやすい執務スペースを考えていきたい。

委員：40年ぶりに来た。古いが入入れが行き届いている。校舎の繋ぎ目などに老朽化が見られ、改修の時期が来ている。目指すべき姿については、全て実現することは難しいので、優先順位を付けて実現していけたらよい。

会長：この先の50年を見通す必要がある。ICT化などを検討し、視聴覚室やパソコン教室は必要性などを判断する。今必要なものでも、将来を見据えて想定していかなければならない。教室はやはり狭いと感じた。
本日の視察を踏まえて、次回委員の皆様から専門的なご意見を頂きたい。

9 その他

次回の構想会議日程

9月1日（水）午前10時～ 豊山町役場 会議室1

上記のとおり第2回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和3年8月25日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 水 野 晃